

公益社団法人都市住宅学会・2017年度事業報告

(2017年4月1日より2018年3月31日まで)

1. 総会の開催

(本部)

2017年度通常総会を開催 (東北支部)	5月31日
2017年度通常総会を開催 (関東支部)	4月19日
2017年度通常総会を開催 (中部支部)	4月19日
2017年度通常総会を開催 (関西支部)	4月15日
2017年度通常総会を開催 (中国・四国支部)	4月15日
2017年度通常総会を開催 (九州支部)	4月15日
2017年度通常総会を開催	4月15日

2. 理事会及び常務理事会の開催

・理事会 4回開催

第1回理事会	2017年5月31日
第2回理事会	2017年9月15日
第3回理事会	2017年12月2日
第4回理事会	2018年3月2日

・常務理事会 6回開催

第1回常務理事会	2017年5月18日
第2回常務理事会	2017年7月21日
第3回常務理事会	2017年9月15日
第4回常務理事会	2017年11月17日
第5回常務理事会	2018年1月19日
第6回常務理事会	2018年3月2日

3. 都市住宅学会賞等の選考

学会賞委員会により、論文賞、論説賞及び研究奨励賞、著作賞の選考を実施
業績賞委員会により、業績賞の選考を実施

4. 学会誌の発行

・学会誌「都市住宅学」を4回発行

2017年度春号(第97号)	2017年4月30日発行
2017年度夏号(第98号)	2017年7月31日発行
2017年度秋号(第99号)	2017年10月31日発行
2017年度冬号(第100号)	2018年1月31日発行

5. 第25回学術講演会の開催

・都市住宅学会第25回学術講演会を次のとおり開催

- (1) 日時：2017年12月1日、2日、3日
- (2) 場所：福岡大学
- (3) 内容：研究発表(12題)、メインシンポジウム、ワークショップ、見学会

6. 本部及び各支部によるシンポジウム等開催

(本部)

・公開市民フォーラム
2017年5月31日 住宅金融支援機構 すまい・るホール
「資産としてのマンションの課題」

・学生論文コンテスト
(博士論文部門)

2017年5月31日 ステージビルディング会議室
(卒業論文・修士論文部門)

2018年3月14日 ステージビルディング会議室(審査会場)

・日韓研究交流シンポジウム

2018年2月2日 グランフロント大阪北館タワーB10 階
ナレッジキャピタルカンファレンスルームタワーB B01
開会挨拶 三浦研(京都大学/都市住宅学会関西支部長)
川幡祐子「大都市部におけるリノベーションまちづくり」
金美連「韓国の老朽住宅地再生 清州市における『都市再
生ニューディール政策』適用モデル」

ディスカッション・質疑応答

コメント・閉会の挨拶 朴庚玉(忠北大学/韓国住居学会会長)

逐次通訳 李容圭(済州大学)

司会進行 前田昌弘(京都大学)

・交流研究会

ベトナム都市建築住宅事情調査(関東・関西支部共催)
2018年3月15日～3月20日

(関東支部)

・講演会

2017年4月19日 ステージビルディング会議室
「センシユアス・シティ[完納都市] 本当の都市の魅力
を測る新しいものさしの提案」
講師：島原万丈氏(LIFULL HOME'S 総研所長)

・シンポジウム

2018年3月20日 ステージビルディング会議室
「Open Data × Civic Tech × 都市住宅地の持続可能
性を支える地域イノベーションシステム」

パネリスト：

奥村裕一(東京大学公共政策大学院客員教授)

杉浦裕樹(横浜コミュニティデザインラボ)

関本義秀(東京大学生産技術研究所准教授)

コーディネーター：

川島宏一(筑波大学システム情報系社会工学域教授)

・郊外住宅地 再生フォーラム2018

一住民、企業、行政らによる多主体共創の取り組みに向けてー
(共催：日本建築学会関東支部住宅問題専門研究委員会)

2018年3月30日 東京大学工学部14号館141教室

事例報告：樋野公宏(東京大学准教授)、進藤武仁(こま武蔵台福祉ネット)、園田真理子(明治大学教授)、瓜坂和昭(大和ハウス工業株式会社)、室田昌子(東京都市大学教授)、高野修一(株式会社東急不動産 R&D センター)、脇濱直樹、廣瀬雄一(大和ハウス工業株式会社)
コメンテーター：小泉秀樹(東京大学教授)、大月敏雄(東京大学教授)

(中部支部)

・総会講演会

2017年4月15日

講師：鈴木雅之氏(千葉大学国際教養学部准教授、博士(工学)、NPO法人ちば地域再生リサーチ事務局長)

テーマ：NPOによる団地の空き家問題の処方箋

・研究交流会 住宅と人生

2017年7月27日

「私の研究人生」と「名古屋のある下町の生成と変遷」

講師：高阪謙次氏(椋山女学園大学 名誉教授)

・交流研究会 若手研究者講演会

2017年9月9日

「アルジェリア都市の空間形態—ヴァナキュラー、フランス植民地、セルフビルドの自然発生的な都市構成の視点で—」

講師：Lemya Kacha 氏 (Batna 大学 (アルジェリア) 准教授)

・シンポジウム・セミナー

2018年1月16日

「郡上市公社と瑞浪市空家対策協議会の取り組み」

(1) 郡上市産業振興公社専務理事 武藤隆晴氏

(2) 瑞浪市大湫町コミュニティ推進協議会 会長 小栗司氏、大湫区長会会長 足立亘氏、転入対策委員会委員長 棚橋和代氏

(関西支部)

・総会記念フォーラム

「都市に住む～私たちはどこに、どのように住むのか～」

2017年4月15日 大阪市立大学 文化交流センターホール

報告：私はどこに、どのように住むのか

都市住宅学会関西支部会員の思い

報告者：福本 優 (関西大学大学院)

【パネルディスカッション】

森栗 一茂 (大阪大学コミュニケーションデザインセンター教授)

角野 幸博 (関西学院大学総合政策学部 教授)

佐藤 浩司 (国立民族学博物館 民族社会研究部 准教授)

宮本 匠 (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 講師)

岸上 純子 (SPACSPACE 一級建築士事務所)

コーディネーター：岡 絵理子 (関西大学)

【総括】三浦 研 (京都大学)

・特別講演会

「地域包括ケアシステムとまちづくり」

2017年6月9日 関西大学 梅田キャンパス Room701

講演「地域包括ケアシステムとまちづくり」

講師：服部 真治(医療経済研究機構 研究部研究員 兼 研究総務部次長)

・都市住宅セミナー (見学会)

「都市住宅セミナー ～見たい・会いたい、あの街・あの人～」

「立命館大阪いばらきキャンパスで考える空き家政策」

2017年7月22日 立命館大学大阪いばらきキャンパス

大阪いばらきキャンパス見学・案内

[講演]「茨木市の空き家政策のあり方」大塚康央氏(茨木市副市長)

空き家集積地区のまちあるき

(中国・四国支部)

・講演会

2017年4月15日 広島工業大学 広島校舎 301号室

テーマ：倉敷市、鳥取市における中心市街地活性化プロジェクト

講師：成清仁士氏(鳥取市中心市街地活性化協議会タウンマネージャー)

(九州支部)

・支部総会記念企画

「地域コミュニティを高めるリノベーション」リノベーション事例見学会

2017年4月15日

見学会箇所 コーポ江戸屋敷、H&A Apartment

・講演会「地域コミュニティを高める賃貸住宅～DIY リノベによるコミュニティデザイン～」

2017年4月15日 久留米市生涯学習センター 301学習室

講師：半田 啓祐氏、半田 満氏 (H&A brothers)

・都市住宅学会九州支部優秀学生賞(学生表彰事業)

募集期間：2018年2月15日～2月27日

7. 本部及び各支部による委員会等活動

(本部)

・総務企画委員会 (5回開催)

第127回 2017年5月18日

第128回 2017年7月21日

第129回 2017年11月14日

第130回 2018年1月19日

第131回 2018年3月2日

・学術委員会 (1回開催)

第78回 2017年9月25日

・編集委員会 (4回開催)

第127回 2017年6月7日

第128回 2017年9月7日

第129回 2017年12月3日

第130回 2018年2月21日

・学会賞委員会 (3回開催)

第75回 2017年4月7日

第76回 2017年9月22日

第77回 2018年1月25日

・業績賞委員会（2回開催）

第24回 2017年8月4日

第25回 2017年10月2日

（東北支部）

・東北支部 常議員会（2回開催）

第1回常議員会 2017年4月19日

第2回常議員会 2018年2月23日

（関東支部）

・関東支部 常議員会（4回開催）

第1回常議員会 2017年6月19日

第2回常議員会 2017年9月28日

第3回常議員会 2017年12月11日

第4回常議員会 2018年2月20日

・見学会

2017年11月2日

「ひばりが丘団地 団地再生事業におけるエリアマネジメント見学会」

（中部支部）

・中部支部 常議員会（2回開催）

第1回常議員会 2017年4月15日

第2回常議員会 2018年2月20日

・中部支部 幹事会（7回開催）

第1回幹事会 2017年6月1日

第2回幹事会 2017年6月30日

第3回幹事会 2017年7月27日

第4回幹事会 2017年9月26日

第5回幹事会 2017年10月30日

第6回幹事会 2017年12月4日

第7回幹事会 2018年1月20日

・住宅市場研究会 郊外住宅地部会

かねてより交流のある桜ヶ丘ハイツ（岐阜県可児市）との関係で、取り組みがあった。

桜ヶ丘ハイツの団地再生にむけて、住民から自主的な公園の現状調査に基づいて、市に要望書を提出した。住民による公共空間の改善の取り組みの実施をアドバイスした。

7月の幹事会では、河崎委員から可児市・桜ヶ丘ハイツにおける太陽光発電設置の設置をめぐる業者、住民、市役所の動きについて報告があった。こうした開発への対応は今後郊外住宅地の課題になると考えられる。今後も経過報告を行う予定である。

桜ヶ丘ハイツまちづくり協議会 10周年記念シンポジウムに河崎、海道の両委員が出席し、基調報告、ディスカッションを行った。

・住宅市場研究会 賃貸住宅部会

8月～9月にかけて、大阪でサービス付き高齢者住宅のアンケート調査を実施した。

・住宅市場研究会 住宅再生部会

2017年11月5日

シンポジウム「エリアマネジメントから考える住宅・マンション・団地の再生」実施

※(社)日本マンション学会 中部支部との共催

場所：ウインクあいち(愛知県産業労働センター)

講演1：「エリアの再生と団地・マンション」松村秀一氏（東京大学 教授）

講演2：「高齢者のマンションライフと、法制度・公的支援」花井増實氏（弁護士・(社)日本マンション学会中部支部長）

ディスカッション：コーディネーター：村上心（椋山女学園大学／住宅再生部会部会長）

パネリスト：松村秀一氏、花井増實氏、馬場研治氏（全国住宅産業協会副会長／東海住宅産業協会理事）

・住宅市場研究会 公共住宅部会

2017年5月30日

愛知県住宅供給公社大曾根住宅における既存ストックの活用について

（山中健二氏 愛知県住宅供給公社技術業務課）

2017年8月25日

新しい住宅セーフティネット制度について

（畑裕幸氏 国土交通省中部地方整備局住宅整備課長）

2017年11月8日

高蔵寺ニュータウンにおける春日井市の取組

（水野真一氏 春日井市まちづくり推進部ニュータウン創生課長）

・見学会

2018年3月25日

「愛知県住宅公社 大曾根住宅サービス付き高齢者向け住宅」

※公共住宅部会と中部支部との共催

（関西支部）

・関西支部 常議員会（8回開催）

第1回常議員会 2017年5月9日

第2回常議員会 2017年7月7日

第3回常議員会 2017年9月5日

第4回常議員会 2017年10月14日

第5回常議員会 2017年12月20日

第6回常議員会 2018年1月29日

第7回常議員会 2018年2月19日

第8回常議員会 2018年3月30日

・郊外・すまいと鉄道研究委員会

「駅から始まるコンパクトシティ形成促進方策に関する研究(3)」(2016年度受託調査中間報告会)

2017年6月16日 公益財団法人都市活力研究所セミナー
ルーム

プログラム：

関西学院大学総合政策学部教授 角野 幸博（全体総括）

関西大学環境都市工学部建築学科教授 岡 絵理子

武庫川女子大学生活環境学部生活環境学科講師 水野 優子

大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻助教 伊丹 康二

関西学院大学大学院総合政策研究科博士前期課程 角野幸博研究室 青木 嵩（サポーター）

・子育て支援住環境研究委員会

「子育て支援をテーマとした団地再生先進事例の現地見学・意見交換会」

2018年2月26日、3月6日 UR都市機構 男山団地

*参加者の都合により日程を二日にかけて実施したが内容はいずれも基本的に同じである。

案内：辻村修太郎氏（男山地域再生コーディネータ）

松原一樹氏（関西大学大学院生／住戸リノベーションの設計を担当）

荒木公樹氏（本委員会委員／関西大学団地再編プロジェクトメンバー）

・団地における3公連携研究委員会

見学ツアー＋公開ディスカッション「3公連携プラットフォームを目指して」

第1回研究会「地域包括ケアシステムとまちづくり」

服部 真氏（医療経済研究機構研究部研究員兼研究総務部次長）

主催：住民主体の地域作り研究会、団地における3公連携研究委員会

共催：(株)URリンケージ西日本支社

日時：2017年6月9日 関西大学梅田キャンパス

第2回研究会「団地という“まち”の、潤いある暮らし～南港ポートタウン再生への取り組み～」

絹原 一寛氏（(株)地域計画建築研究所）

2017年12月5日 会場：関西大学梅田キャンパス

第3回『泉北ニュータウン』

主催：都市住宅学会 関西支部 団地における3公の連携研究会

共催：大阪府住宅供給公社 後援：堺市、南海電気鉄道株式会社、社会福祉法人よしみ会

2018年3月1日

進行：安枝英俊（兵庫県立大学環境人間学部准教授）

趣旨説明：安枝 英俊（同上）

報告：

泉北NTの現状・課題と取り組み 中川健太（堺市 ニュータウン地域再生室主査）

槇塚台における官学民連携の取り組み 西上孔雄（NPO法人すまいるセンター代表）

茶山台における地域活性化の取り組み 山口大輔（社会福祉法人よしみ会 施設長）

民間のアイデアによる駅前広場の活用 与野 薫（南海電気鉄道株式会社 泉北事業部課長）

ディスカッション：

コーディネーター：安枝英俊（兵庫県立大学 環境人間学部 准教授）

パネラー：角野幸博（関西学院大学 総合政策学部 教授）

中川健太（堺市 ニュータウン地域再生室）

与野 薫（南海電気鉄道株式会社泉北事業部）

塚本貴昭（独立行政法人都市再生機構西日本支社）

西上孔雄（NPO法人すまいるセンター）

山口大輔（社会医療法人よしみ会）

神吉竜一（兵庫県住宅供給公社）

木田行信（大阪府住宅供給公社）

・タワーマンション研究委員会

公開研究会「タワーマンション管理の到達点と将来」

調査報告：

「大阪都心のタワーマンション実態」岡絵理子（関西大学）

「首都圏のタワーマンション視察報告」森山秀二（一級建築士事務所BA）

公開ヒアリング「タワーマンションの現場から」大和ライフネクスト(株)管理統括担当者

田中和彦（(株)フォーシーカンパニー）

三浦研（京都大学）

全体進行 鈴木裕二（阪急不動産(株)）

2017年11月20日 関西大学梅田キャンパス Room701

・学生研究小論発表・討論会 2016

2017年10月14日 公益財団法人都市活力研究所 セミナールーム

テーマ：「地域の居場所」

【発表】

艾 悦西（大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻 博士後期課程1年）

「区内における高齢者の居場所となる居宅養老施設に関する研究—中国・西安市を例として—」

キム ユンジ（大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻 博士前期課程2年）

「居場所における社会的交流の可能性」

【コメント】

平本 毅先生、三浦支部長、常議員

【小講演】

平本 毅先生（京都大学経営管理研究部附属経営研究センター 特定講師）

「居場所でつながる、居場所をつなげる：NPO 法人『つながるKYOTOプロジェクト』の取り組み」

（中国・四国支部）

・中国・四国支部 常議員会（4回開催）

第1回常議員会 2017年4月15日

第2回常議員会 2017年7月24日

第3回常議員会 2017年9月20日

第4回常議員会 2018年2月9日

・中国・四国支部 総務企画委員会（2回開催）

第1回総務企画委員会 2017年4月15日

第2回総務企画委員会 2018年2月13日

・見学会

2017年10月14日、15日

テーマ：鳥取市における地方創生の現状—鳥取市中心市街地と鹿野町のまちづくりをとおして—

案内：成清仁士氏（鳥取市中心市街地活性化協議会タウンマネージャー）

協力：NPO いんしゅう鹿野まちづくり協議会、鳥取市中心市街地活性化協議会、公共財団法人鳥取民藝美術館

（九州支部）

・九州支部 常議員会（2回開催）

第1回常議員会 2017年4月15日

第2回常議員会 2018年3月13日

・常議員通信

第1回通信 2017年4月11日
第2回通信 2018年1月24日
第3回通信 2018年1月26日
第4回通信 2018年2月5日
第5回通信 2018年2月7日
第6回通信 2018年3月2日
第7回通信 2018年3月9日
第8回通信 2018年3月14日
第9回通信 2018年3月14日

・学生表彰委員会

第1回委員会 2018年3月13日

・第25回学術講演会実行委員会

第1回実行委員会 2017年7月21日

第2回実行委員会 2017年8月21日

第3回実行委員会 2017年10月10日

・第25回学術講演会実行委員通信

第1回通信 2017年6月3日
第2回通信 2017年6月21日
第3回通信 2017年8月5日
第4回通信 2017年8月17日
第5回通信 2017年8月24日
第6回通信 2017年8月29日
第7回通信 2017年9月8日
第8回通信 2017年10月11日
第9回通信 2017年11月1日
第10回通信 2017年11月17日
第11回通信 2017年11月25日
第12回通信 2017年11月29日
第13回通信 2017年12月4日

以上

事業報告附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項として記載すべき事項は、特にありません。

以 上

都市住宅学会・2017年度貸借対照表

2018年3月31日現在

(単位:円)

科目	2017年度	2016年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	69,113	96,624	△ 27,511
普通・郵便預貯金	14,231,322	4,173,095	10,058,227
定期預金	13,116,470	15,016,470	△ 1,900,000
未収金	1,458,000	11,310,840	△ 9,852,840
前払金	0	0	0
立替金	0	0	0
流動資産合計	28,874,905	30,597,029	△ 1,722,124
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	30,368,125	30,368,125	0
基本財産合計	30,368,125	30,368,125	0
(2) 特定資産			
定期預金	41,126,259	40,126,259	1,000,000
特定資産合計	41,126,259	40,126,259	1,000,000
固定資産合計	71,494,384	70,494,384	1,000,000
資産合計	100,369,289	101,091,413	△ 722,124
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	8,040,014	9,035,594	△ 995,580
前受金	799,630	1,034,000	△ 234,370
預り金	111,462	76,964	34,498
流動負債合計	8,951,106	10,146,558	△ 1,195,452
2. 固定負債			
退職給付引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	8,951,106	10,146,558	△ 1,195,452
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
補助金	0	0	0
寄付金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	91,418,183	90,944,855	473,328
(うち基本財産への充当額)	(30,368,125)	(30,368,125)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(40,126,259)	(40,126,259)	(0)
正味財産合計	91,418,183	90,944,855	473,328
負債及び正味財産合計	100,369,289	101,091,413	△ 722,124

都市住宅学会・2017年度正味財産増減計算書
2017年4月1日から2018年3月31日まで

(単位:円)

科目 大科目 中科目	2017年度	2016年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の分			
(1) 経常収益			
①基本財産運用収入			
基本財産利息収入	2,023	6,975	△ 4,952
②特定資産運用益(利息収入)			
定期預金利息収入	3,831	8,711	△ 4,880
③受取入金	51,000	40,000	11,000
入会金収入	51,000	40,000	11,000
④会費収入	14,524,000	15,215,768	△ 691,768
正会員・準会員	11,704,000	12,182,768	△ 478,768
賛助会員	2,820,000	3,033,000	△ 213,000
⑤事業収入	11,659,700	13,214,918	△ 1,555,218
研究受託収入	9,676,800	9,676,800	0
事務受託収入	362,900	1,918,118	△ 1,555,218
支部研究受託収入	1,620,000	1,620,000	0
支部交付金	0	0	0
⑥受取補助金等	0	1,300,001	△ 1,300,001
補助金等収入	0	0	0
研究成果公開促進費	0	1,300,001	△ 1,300,001
⑦受取寄付金	0	322,206	△ 322,206
指定寄付金	0	0	0
一般寄付金	0	322,206	△ 322,206
⑧雑収益	485,673	420,915	64,758
受取利息	3,009	1,808	1,201
雑収入	482,664	419,107	63,557
経常収益計	26,726,227	30,529,494	△ 3,803,267
(2) 経常費用			
①事業費支出	20,590,838	21,702,489	△ 1,111,651
給与手当(70%)※	3,732,436	4,495,740	△ 763,304
臨時雇賃金(70%)※	167,902	0	167,902
福利厚生費(70%)※	683,381	739,362	△ 55,981
会議費(70%)※	301,387	246,547	54,840
旅費交通費(70%)※	1,275,513	655,669	619,844
通信運搬費(70%)※	220,769	394,749	△ 173,981
消耗品費(70%)※	120,821	89,128	31,693
印刷製本費	120,024	349,898	△ 229,874
論文集発行費	2,595,631	1,717,340	878,291
賃借料(70%)※	1,139,517	1,697,961	△ 558,444
諸謝金	2,748,077	2,310,914	437,163
租税公課(70%)※	171,150	657,055	△ 485,905
研究委託費(70%)※	4,485,077	5,193,882	△ 708,805
事務委託費(70%)※	440,160	440,160	0
秋季全国大会費	700,000	332,602	367,398
シンポジウム費	1,076,397	691,680	384,717
研究成果公開促進費	0	1,300,001	△ 1,300,001
国際交流費	319,856	200,000	119,856
事業費予備費	0	0	0
図書購入費	3,195	0	3,195
雑費(70%)※	289,547	189,801	99,746
②管理費支出	5,662,061	6,385,714	△ 723,653
給与手当(30%)※	1,599,615	1,926,745	△ 327,130
臨時雇賃金(30%)※	71,958	0	71,958
福利厚生費(30%)※	292,878	316,870	△ 23,992
会議費(30%)※	129,166	105,664	23,502
旅費交通費(30%)※	546,649	272,430	274,219
通信運搬費(30%)※	94,616	169,177	△ 74,562
消耗品費(30%)※	51,781	38,198	13,583
印刷製本費	78,778	51,404	27,374
賃借料(30%)※	488,364	727,698	△ 239,334
諸謝金	0	0	0
租税公課(30%)※	73,350	281,595	△ 208,245
研究委託費(30%)※	1,922,176	2,225,949	△ 303,773
事務委託費(30%)※	188,640	188,640	0
総務費	0	0	0
図書購入費	0	0	0
雑費(30%)※	124,091	81,344	42,747
経常費用計	26,252,899	28,088,203	△ 1,835,304
当期経常増減額	473,328	2,441,291	△ 1,967,963
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	473,328	2,441,291	△ 1,967,963
一般正味財産期首残高	90,944,855	88,503,564	2,441,291
一般正味財産期末残高	91,418,183	90,944,855	473,328
II 指定正味財産増減の部			
1. 受取寄付金	0	0	0
2. 一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	91,418,183	90,944,855	473,328

都市住宅学会・2017年度正味財産増減計算書(内訳表)
2017年4月1日から2018年3月31日まで

(単位:円)

科目 大科目 中科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の分				
(1) 経常収益				
①基本財産運用収入				
基本財産利息収入	2,023	0	0	2,023
②特定資産運用益(利息収入)				0
定期預金利息収入	0	3,831	0	3,831
③受取入会金	35,700	15,300	0	51,000
入会金収入	35,700	15,300	0	51,000
④会費収入	10,166,800	4,357,200	0	14,524,000
正会員・準会員	8,192,800	3,511,200	0	11,704,000
賛助会員	1,974,000	846,000	0	2,820,000
⑤事業収入	8,161,790	3,497,910	0	11,659,700
研究受託収入	6,773,760	2,903,040	0	9,676,800
事務受託収入	254,030	108,870		362,900
支部研究受託収入	1,134,000	486,000		1,620,000
支部交付金	0	0	0	0
⑥受取補助金等	0	0	0	0
補助金等収入	0	0	0	0
研究成果公開促進費	0	0	0	0
⑦受取寄付金	0	0	0	0
指定寄付金	0	0	0	0
一般寄付金	0	0	0	0
⑧雑収益	339,971	145,702	0	485,673
受取利息	2,106	903	0	3,009
雑収入	337,865	144,799	0	482,664
経常収益計	18,706,284	8,019,943	0	26,726,227
(2) 経常費用				
①事業費支出	20,590,838	0	0	20,590,838
給与手当(70%)※	3,732,436	0	0	3,732,436
臨時雇賃金(70%)※	167,902	0	0	167,902
福利厚生費(70%)※	683,381	0	0	683,381
会議費(70%)※	301,387	0	0	301,387
旅費交通費(70%)※	1,275,513	0	0	1,275,513
通信運搬費(70%)※	220,769	0	0	220,769
消耗品費(70%)※	120,821	0	0	120,821
印刷製本費	120,024	0	0	120,024
論文集発行費	2,595,631	0	0	2,595,631
賃借料(70%)※	1,139,517	0	0	1,139,517
諸謝金	2,748,077	0	0	2,748,077
租税公課(70%)※	171,150	0	0	171,150
研究委託費(70%)※	4,485,077	0	0	4,485,077
事務委託費(70%)※	440,160	0	0	440,160
秋季全国大会費	700,000	0	0	700,000
シンポジウム費	1,076,397	0	0	1,076,397
研究成果公開促進費	0	0	0	0
国際交流費	319,856	0	0	319,856
事業費予備費	0	0	0	0
図書購入費	3,195	0	0	3,195
雑費(70%)※	289,547	0	0	289,547
②管理費支出	0	5,662,061	0	5,662,061
給与手当(30%)※	0	1,599,615	0	1,599,615
臨時雇賃金(30%)※	0	71,958	0	71,958
福利厚生費(30%)※	0	292,878	0	292,878
会議費(30%)※	0	129,166	0	129,166
旅費交通費(30%)※	0	546,649	0	546,649
通信運搬費(30%)※	0	94,616	0	94,616
消耗品費(30%)※	0	51,781	0	51,781
印刷製本費	0	78,778	0	78,778
賃借料(30%)※	0	488,364	0	488,364
諸謝金	0	0	0	0
租税公課(30%)※	0	73,350	0	73,350
研究委託費(30%)※		1,922,176		1,922,176
事務委託費(30%)※		188,640		188,640
総務費		0		0
図書購入費		0		0
雑費(30%)※		124,091		124,091
経常費用計	20,590,838	5,662,061	0	26,252,899
当期経常増減額	△ 1,884,554	2,357,882	0	473,328
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,884,554	2,357,882	0	473,328
一般正味財産期首残高	45,291,458	45,653,397	0	90,944,855
一般正味財産期末残高	43,406,904	48,011,279	0	91,418,183
II 指定正味財産増減の部				
1. 受取寄付金	0	0	0	0
2. 一般正味財産への振替額	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	43,406,904	48,011,279	0	91,418,183

都市住宅学会・財務諸表に対する注記
2018年3月31日現在 公益社団法人都市住宅学会

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提が適切であるかどうかを総合的に評価した結果、貸借対照表において、単独で又は複合して継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況は存在しません。

2. 重要な会計方針

平成20年度基準を採用しております。

(1)消費税等の会計処理

税込み方式

(2)支部運転資金の流動資産化

2013年度の公益社団法人移行に伴い、従来、特定資産としていた支部の運転資金を流動資産に移行したため、前期繰越収支差額(流動資産の期首残高)に計上済み。

3. 会計方針の変更

2013年度決算から平成20年度会計基準を採用しました。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである (単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	30,368,125	0	0	30,368,125
小計	30,368,125	0	0	30,368,125
特定資産				
運営基金	40,126,259	1,000,000	0	41,126,259
小計	40,126,259	1,000,000	0	41,126,259
合計	70,494,384	0	0	71,494,384

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである (単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	30,368,125	(0)	(30,368,125)	(0)
小計	30,368,125	0	30,368,125	0
特定資産				
運営基金	41,126,259	(0)	(41,126,259)	(0)
小計	41,126,259	0	(41,126,259)	(0)
合計	71,494,384	0	(71,494,384)	0

6. 担保に供している資産

ありません。

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次の通りである

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	1,458,000	0	1,458,000
立替金	0	0	0
合計	1,458,000	0	1,458,000

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当ありません。

9. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当ありません。

10. 関連当事者との取引内容

ありません。

11. 重要な後発事象

ありません。

都市住宅学会・附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産について、財務諸表の対する注記4に記載をしているので、内容を省略する。

2. 引当金の明細

該当ありません。

財 産 目 録

2018年3月31日現在

科 目	内 訳	合計
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		(27,416,905)
現金		69,113
ゆうちょ銀行	千代田区飯田橋郵便局(振替)	運転資金として 84,220
	千代田区飯田橋郵便局(普通)	運転資金として 67,462
普通預金	三菱東京UFJ銀行麹町支店	運転資金として 11,528,397
	みずほ銀行麹町支店	運転資金として 43,237
	三井住友銀行麹町支店	運転資金として 18,619
	三菱UFJ信託銀行本店	運転資金として 10,785
	七十七銀行本店営業部	運転資金として 173,621
	三菱東京UFJ銀行栄町支店	運転資金として 277,789
	りそな銀行北浜支店	運転資金として 592,225
	広島銀行五日市支店	運転資金として 970,321
	西日本シティ銀行箱崎支店	運転資金として 464,646
定期預金	千代田区飯田橋郵便局(定期)	運転資金として 100,000
	三菱東京UFJ銀行麹町支店	運転資金として 10,000,000
	三菱東京UFJ銀行麹町支店	運転資金として 3,016,470
未収金		(1,458,000)
未収入金		0
		1,458,000
前払金		0
立替金		0
仮払金		0
流動資産合計		28,874,905
2 固定資産		
基本財産		(30,368,125)
定期預金	みずほ銀行麹町支店定期預金	公益目的保有財産であり運用益を公益事業の財源として使用 10,105,542
	三井住友銀行麹町支店定期預金	公益目的保有財産であり運用益を公益事業の財源として使用 10,137,865
	三菱UFJ信託銀行本店定期預金	公益目的保有財産であり運用益を公益事業の財源として使用 10,124,718
特定資産		(41,126,259)
定期預金	三菱東京UFJ銀行麹町支店定期預金	公益目的事業に必要なその他の業務の用に供する財産であり運用益を管理費の財源として使用 41,126,259
固定資産合計		71,494,384
資産合計		100,369,289
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		(8,040,014)
その他事業費	独立行政法人都市再生機構再委託費(ちば地域再生リサーチ)	1,600,000
その他事業費	独立行政法人都市再生機構再委託費(社会空間研究所)	1,303,040
その他事業費	自主研究委託費(社会空間研究所)	2,699,313
その他事業費	未払い謝金	195,000
その他事業費	日本通運 3月分保管料	16,070
その他事業費	3月分事務職員給与	245,000
その他事業費	ヤマト運輸3月分	1,268
その他事業費	ファーストサーバ使用料 3月分	2,700
その他事業費	消費税	246,600
その他事業費	関西支部受託収入本社入金分	378,000
その他事業費	社会保険料(3月分)	39,299
その他事業費	関東支部 3/20シンポジウムテープ起こし代	25,488
その他事業費	関東支部 3/30研究会謝金・交通費	26,720
その他事業費	関東支部 3/30研究会テープ起こし代	47,304
その他事業費	関東支部 2017年度交流研究会報告執筆料	10,000
その他事業費	関西支部 受託費、謝金等	1,204,212
前受金	2017年度年会費・2018年度年会費	799,630
預り金	源泉所得税等	報酬税および職員の所得税・社会保険料 111,462
流動負債合計		8,951,106
負債合計		8,951,106
正味財産		91,418,183

都市住宅学会事務局

差出人: "Munetomo Ando" [REDACTED]
日時: 2018年4月26日 12:08
宛先: "都市住宅学会事務局" <t-info@uhs.gr.jp>
件名: Re: 再送【重要:至急確認お願い】都市住宅学会 2017年度事業報告および決算案 監査のお願い(4月26日正午まで)

公益社団法人都市住宅学会
会長 高田光雄 殿

2018年 4月 26日

監 事 (安藤至大)

私は、公益社団法人都市住宅学会の2017年4月1日から2018年3月31日までの2017事業年度の事業及び会計について監査を実施しました。
その結果につき、次のとおり報告します。

1. 監査方法の概要

監事は、理事会に出席するほか、当学会の関係者から事業の報告を聴取し、重要な書類の回付を受け、その事業及び財産の状況を調査しました。ま

た、当学会の関係者から報告並びに説明を受け、事業報告書、事業報告附属明細書及び決算報告書について監査を実施しました。

2. 監査の結果

2.1 事業監査の結果

(1) 当学会の事業については、法令及び当学会の年度計画、事業計画等に基づき、適正に運営されており、不正及び誤謬並びに違法行為の重大な事実は認められません。

(2) 事業報告書は、当学会の事業運営の状況を正しく示しているものと認めます。

2.2 会計監査の結果

決算報告書は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して当学会の決算報告書に係る財産及び損益

(正味財産増

減)の状況をすべての重要な点において正しく示しているものと認めます。

以上

安藤至大



都市住宅学会事務局

差出人: "Toru Ishikawa" [REDACTED]
日時: 2018年4月25日 15:57
宛先: "都市住宅学会事務局" <t-info@uhs.gr.jp>
件名: Re: 【重要:ご返信お願い】都市住宅学会 2017年度事業報告および決算案 監査のお願い(4月26日正午まで)

監査報告書

公益社団法人都市住宅学会
会長 高田光雄 殿

2018年4月25日
監事 (石川 徹)

私は、公益社団法人都市住宅学会の2017年4月1日から2018年3月31日
までの2017事業年度の事業及び会計について監査を実施しました。
その結果につき、次のとおり報告します。

1. 監査方法の概要

監事は、理事会に出席するほか、当学会の関係者から事業の報告を聴取し、
重要な書類の回付を受け、その事業及び財産の状況を調査しました。また、
当学会の関係者から報告並びに説明を受け、事業報告書、事業報告附属
明細書及び決算報告書について監査を実施しました。

2. 監査の結果**2.1 事業監査の結果**

(1) 当学会の事業については、法令及び当学会の年度計画、事業計画等
に基づき、適正に運営されており、不正及び誤謬並びに違法行為の重大な
事実は認められません。

(2) 事業報告書は、当学会の事業運営の状況を正しく示しているものと
認めます。

2.2 会計監査の結果

決算報告書は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計
の基準に準拠して当学会の決算報告書に係る財産及び損益(正味財産増減)
の状況をすべての重要な点において正しく示しているものと認めます。

以上